



活動報告 2019

「静岡県総合社会福祉会館 1階」

認定NPO法人 フードバンクふじのくに 活動報告書

INDEX

1. はじめに

- 理事長挨拶 P4
- 団体運営の仕組み P6
- フードバンクふじのくにの目標 P7
- 事業の仕組み P9

2. 食料寄付から提供までの流れ

- 食料寄付を受ける P11
- 食料を管理する P23
- 食料を提供する P26
- 「赤い羽根」新型コロナウイルス感染拡大対策
緊急応援事業 P28

3. フードバンク事業推進委員会 P30

4. 統計・アンケート P31

- メディア掲載・活動報告 P36
- 利用者の声 P38

5. 後援企業 団体 P40

6. 会員募集 ボランティア募集 P44



地域社会から信頼されるフードバンクをめざして

フードバンクふじのくには、処分せざるを得ない食べ物を個人や企業などから寄贈していただき、それを生活困窮者に無料でお渡しするため、2014年5月20日より活動を開始し、4年が経過しました。当初は、任意団体としてスタートしましたが、その後、2014年10月にNPO法人の認証を受け、さらに2017年4月からは社会的に公益性の高い団体として認知された認定NPO法人の認定を静岡市から受けました。こうして、フードバンクふじのくには、地域の皆様と共に歩み、そして地域社会にとってかけがえのない活動を展開する団体として皆様に知られるようになりました。

農林水産省の最新のデータによれば、日本における食品ロスは、年間約612万トンとされ、食品ロスの推計を始めた2012年以降では最少となりましたが、それでも廃棄量は大きいと言わざるを得ません。このように、食べられるにも関わらず捨てられている食料を有効に活用することは、日本社会にとり極めて重要な課題であると言えます。このような課題に静岡県内で果敢に挑んでいるのが、フードバンクふじのくです。

ところで、2015年4月より施行された「生活困窮者自立支援法」は、2018年10月に改正されました。さらに、2019年10月からは「食品ロスの削減の推進に関する法律」(食品ロス削減推進法)が施行され、19条に「フードバンク活動の支援」を謳う条項も盛り込まれました。これら一連の法改正や法律の施行により、生活困窮状態にある人々への地域の皆様の関心も増大しています。フードバンクふじのくには、県内諸団体の連携によるコンソーシアム方式により設立されましたが、その後の活動の中において、静岡県をはじめ、県内35市町のすべてと関係を築くことができましたし、地域福祉の最前線で活動を展開している市町社会福祉協議会とも連携を強化することができました。さらに、県内企業の皆様とも連携を深めることができ、食料を寄贈していただいています。まさに、フードバンクふじのくの活動を核にして、生活困窮者への「食」を通じた支援の体制が静岡県内に構築されつつあることは大きな成果だと考えています。

また、2020年2月以降増加の一途をたどった新型コロナウイルス感染拡大に際し、生活困窮に陥った県民を支援するため、静岡県共同募金会の助成により、赤い羽根「新型コロナウイルス感染拡大対策緊急応援事業」(新型コロナ対策フードバンク応援事業)を実施しております。フードバンクふじのくには今後も静岡県内における食品ロスの削減に力を尽くすとともに、食に事欠く人々がふさわしい職を得て、安定した生活を営むことができるよう声援を送っていきます。

最後になりましたが、これまでフードバンクふじのくにをご支援くださいました皆様に心よりお礼を申し上げます。ここに、フードバンクふじのくにの2019年度の活動報告書をお届け致しますので、ご一読いただけますと幸いです。これからも皆様の一層のご支援を心よりお願い申し上げます。

認定NPO法人 フードバンクふじのくに



認定NPO法人
フードバンクふじのくに

理事長 日詰 一幸

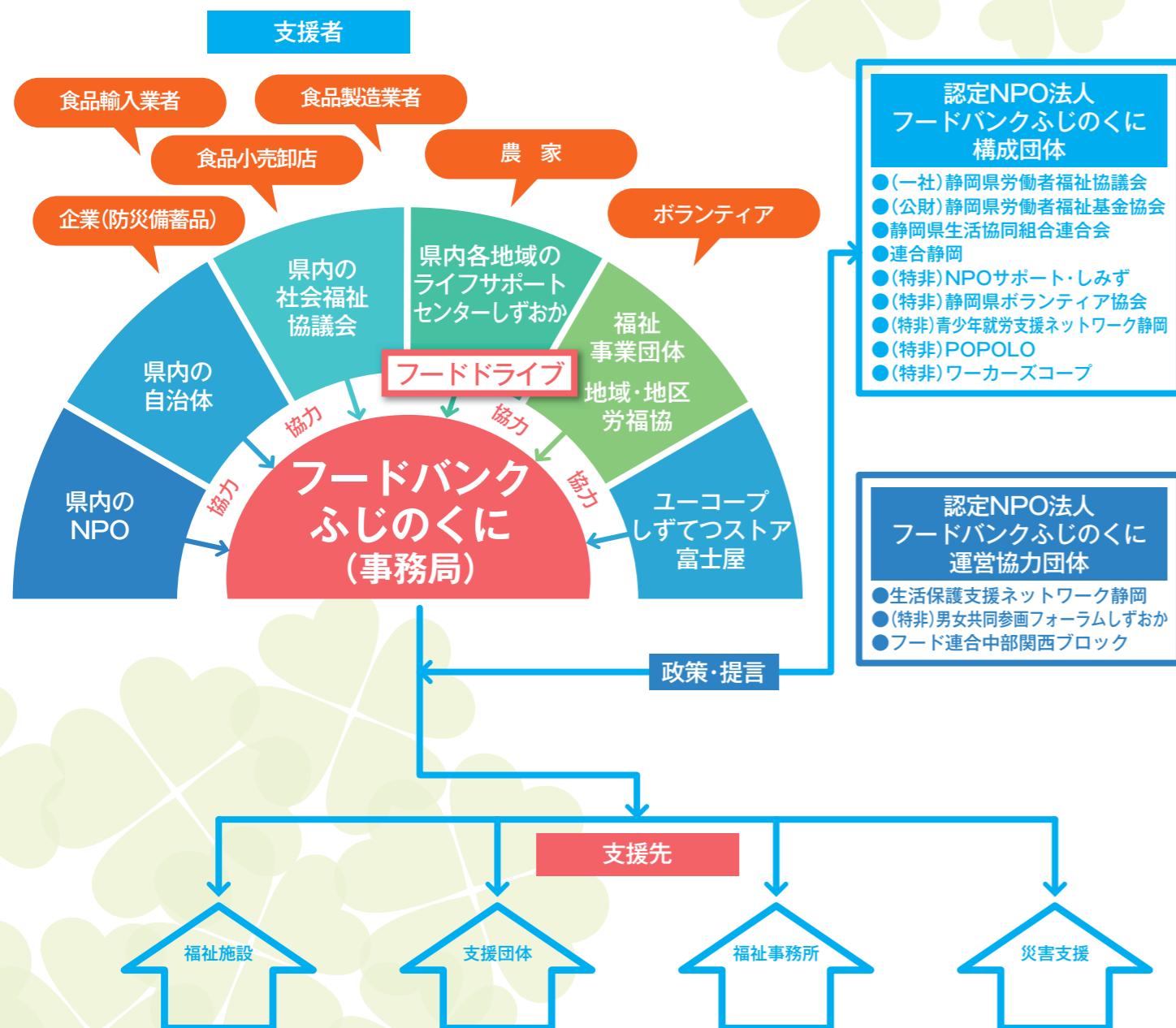
団体運営の仕組み

フードバンクふじのくにの仕組み

フードバンクふじのくには、処分せざるを得ない食料を有効活用することにより、食料を無駄にせず、食を分かち合い、命や人権を守るという目標を掲げ、各方面の団体の協力を得て、法人設立に至りました。

「フードバンクを地域の仕組みとして定着させ、食を通じて人の縁を結び、お互いが助けあう、困った時はお互い様な社会作りを目指す」ために10を超える団体が1つの連合体となって組織を運営しております。

フードバンクふじのくにの設立が、私たちの社会の在り方を改めて見直すきっかけとなり、「もったいない」食料を「ありがとう」という気持ちに変えることが当たり前の社会になることを、私たちは強く望んでいます。



● フードバンクふじのくにの目標



①食料支援による新しいセーフティネットの構築

生活保護、生活困窮者自立支援法による自立相談窓口、社会福祉協議会の貸付制度等、私たちが生活に困窮した際に相談でき、困窮した状況を解決する「セーフティネット」は、社会の中で制度化されてきていますが、まだまだ一般化されるまでには至っておりません。

私たちが目指す「食料支援による新しいセーフティネット」は上記の社会福祉・社会保障制度に誰もが日々必要としている「食」という視点を取り入れ、明日の食事に事欠く人々がどこでも助けを求めることができるような新たなセーフティネットの構築を目指し、静岡県内の自治体、社会福祉協議会、NPO、福祉施設、相談窓口と連携を行っています。そして、フードバンクが地域の仕組みとして、様々な方々に認知され、活用されるような存在になることを目指します。



事業の仕組み



個人からは家庭で使わなくなった食料、食品企業からは印字ミスや外箱のつぶれ・生産過剰品、一般企業や行政からは防災備蓄品で期限が迫ってきた食料、スーパーからはお客様から募った食料や従来の流通ルートに乗らない食料、農家からはお米など、「本来であれば、まだ安全に食べられるが、利用される可能性が低い食料」を無償で寄贈していただきます。寄贈された食料は賞味期限別に分けて、倉庫で保管します。

②フードバンクを活用した食品ロス削減活動

厚生労働省の推計によると日本の食品ロスは612万トンに上ります。この量は日本人1人当たりに換算すると、毎日お茶碗約1杯分に相当します。

私たちはこの本来安全に食べることができる「もったいない」食料を「ありがとう」に変える為、食品企業から生じる規格外品、3分の1ルールにより処分せざるを得ない食品、自治体や企業が抱える災害備蓄品等をフードバンク活動に寄贈していただけるように寄贈を呼びかけています。

また、自治体や企業だけではなく、個人の家庭に眠っている食料を広く募集するキャンペーンである「フードドライブ」を通して、食品ロスの現状を広く県民の皆様に広め、フードバンク活動を利用した食品ロス削減を推進しています。



一方で生活に困った方は、行政、社会福祉協議会、その他支援団体が運営する相談機関に相談に行きます。その相談の結果、食料支援が必要であると判断された場合、相談機関からフードバンクふじのくにまで支援依頼がきます。依頼は書面で出され、世帯人数・希望支援期間・家族構成・ライフラインの有無・アレルギーの有無といった情報が記載されています。受け取った情報を元に、現在倉庫にある食料の中から選択してセット(1人14日分で10kg程度)を作成し、相談機関へ郵送等の方法で届けます。

私たちは、生活に困った方と直接お話するわけではありませんが、この情報から家庭状況を想像し、本当に必要としている食料を選定しながら箱詰め作業を行っています。

また、食料が企業等からフードバンクへ寄贈される際には、必ず目視による品質及び賞味期限のチェックを行い、安全性を確認します。そして行政等に渡される際には出所の理解と転売しない・賞味期限内に使用する等適切な食料利用の規約をまとめた「配達記録書」を発行します。本書類にはどの企業から来た食品がどのくらいの量渡っているかが書かれており、主に食品に問題があった際に追跡可能性(トレーサビリティ)を確保することを目的として使用しています。

行政等が食料を生活困窮者へと届ける際、行政等の窓口に取りに来てもらう方法か、訪問して届ける方法がありますが、当法人では後者を推奨しています。困っている人の住居や家庭を実際に見ることで、より詳細な現状や生活困窮に陥った理由に気付くことができるからです。



-10-

● 食料寄付から提供までの流れ ●

寄贈 一般社団法人静岡県労働者福祉協議会



参画団体でもある静岡県労働者福祉協議会の呼びかけにより、県内に21カ所にある各地区労福協や企業の労働組合より、様々な方法で食料の寄贈を受けました。また食料だけでなく、活動資金についても多大なご協力をいただいています。

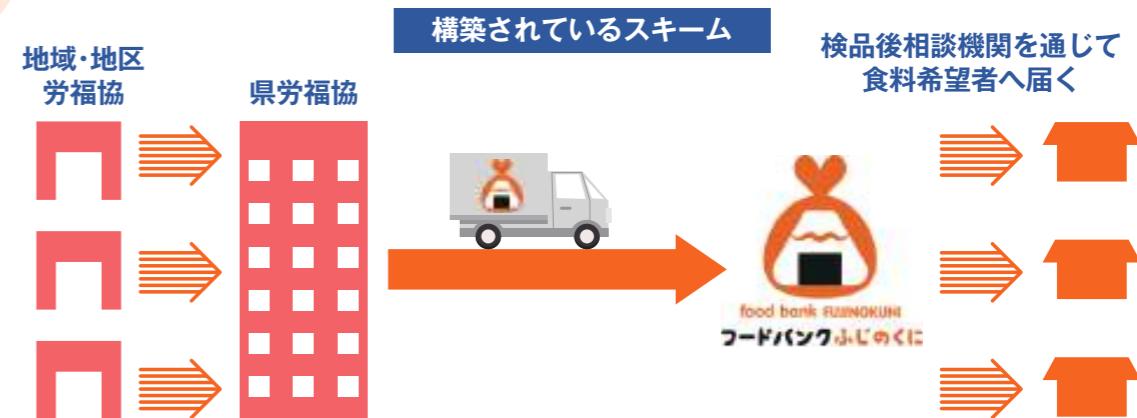


労金労組フードドライブ食品寄贈



湖西地区労福協寄付金寄贈

地域・地区労働者福祉協議会で募集していただいた食料は以下のようない流れでの寄贈となっています。



- ① 地域・地区労働者福祉協議会で食料募集していただきます。
(フードドライブを実施)
- ② 地域・地区労働者福祉協議会で集めた食料を静岡県労働者
福祉協議会に集約します。
- ③ 集約された食料をフードバンクふじのくにが回収します。
- ④ 寄贈いただいた食料の検品後、各相談機関や福祉施設を通じ
食料希望者の皆様へ届けられます。



浜松労福協まつりでのフードドライブ

-11-

寄贈

生活協同組合ユーコープ

生活協同組合ユーコープからは、毎週金曜日に食品の寄贈を受けています。寄贈品は、ユーコープ物流センターである座間セットセンターで余った商品などと、やむを得ない理由でおうちCO-OPの配達直前にキャンセルとなった商品です。2019年度は、静岡・富士に加え・伊豆・御殿場・牧之原・浜松北・浜松南の計7つの宅配センターからのキャンセル品も受けれるようになりました。年間で2.7トンの寄贈を受けました。

また、夏と冬に開催されているフードドライブでは、静岡県内の全17店舗より組合員から寄せられた食品に加え、各店舗で出された陳列期限が過ぎた食品(賞味期限2ヶ月以上残っているもの)、しづおか県本部から、寄せられた食品の寄贈を受けています。寄贈量は、夏冬合計約2.2トンに上りました。



寄贈

株式会社静鉄ストア

年間寄贈重量
約11トン



静岡県内のしづてつストア31店の協力をいただき、毎月2回、静岡市内の配送センターより、食品の寄贈をいただいています。今年度は約11トンの食品の寄贈を受けました。31カ所の店舗内には、常設でフードボックスを設置していただき、県内の方々に年間を通じ、食品寄贈ができるスポットとしてフードバンク活動への協力をいただいているいます。

構築されているスキーム

県内31店舗



物流センター



構築されているスキーム

神奈川県座間市
ユーコープ物流センター



静岡市
ユーコープ宅配センター



年間寄贈重量
約4.9トン

常設回収ボックス設置店			
掛川店	藤枝駅南店	流通通り店	沼津駅前店
菊川店	安東店	田町店	富士吉原店
菊川南店	千代田店	丸子店	富士駅南店
島田店	音羽町店	みずほ店	長泉店
島田東店	あさはた店	宮本町店	
駿河台店	駒形店	入江店	
岡部店	いろは店	御門台店	
藤枝水守店	末広店	草薙店	
藤枝高洲店	新静岡セノバ店	興津店	



寄贈

株式会社スーパー富士屋

寄贈

一般社団法人静岡缶詰協会



年間寄贈重量
約1.44
トン

焼津市内のスーパー富士屋4店舗にフードボックスを常設していただいている。今年度は来店されるお客様より1.44トンの食品の寄贈をいただきました。

スーパー富士屋では食品寄贈を募るだけではなく、生活に困窮された方がフードボックスを見た際、最寄りの生活相談窓口に繋がるように、相談機関のチラシを目に留まりやすいようボックスの脇に添えてあります。スーパーと連携し、事業を継続することで生活困窮者を制度から漏らさない「セーフティネット」あるいは、相談者を窓口へ繋ぐ「プラットホーム」としての役割も担っていただいている。



常設回収ボックス設置店	
東名店	焼津南店
焼津三丁目店	田尻北店



本年度は一般社団法人静岡缶詰協会が声掛けをいただいている、協会加盟企業のはごろもフーズ、SSKセールス、ホテイフーズの3社より合計で1.6トンの食品寄贈をいただきました。

静岡缶詰協会にはフードバンク活動開始以来、6年間にわたり副食であるおかず類を中心に協力をいただいています。



Hageromo

はごろもフーズ

はごろもフーズからの寄贈

HOTEI

ホテイフーズ

SSK

年間寄贈重量
約1.6トン

静岡缶詰協会

構築されているスキーム

静岡缶詰協会
加盟企業

検品後相談機関を通じて
食料希望者へ届く



寄贈

ライオンズクラブ国際協会 334-C地区(静岡県)

ライオンズクラブ国際協会334-C地区では、【地区78クラブ統一奉仕の日】に合わせ、フードドライブを開催していただきました。静岡県内78クラブより、生活困窮者が使いやすい、カップラーメンや副食となる缶詰・レトルト食品など、約5.5トンの食品を寄贈いただきました。また、資金面での協力もいただいています。

**寄贈**

株式会社 大丸 松坂屋百貨店

昨年に引き続き、(株)大丸 松坂屋百貨店 松坂屋静岡店で行われる「エコフレリサイクルキャンペーン」期間中に、松坂屋静岡店の8階にて、フードドライブを開催し、来場された方々に食品をお持ちいただきました。

今後も、キャンペーンに併せフードドライブを開催していく予定です。



**年間寄贈重量
約5.5トン**



企業・団体からの寄贈

FDK株式会社	静岡県中部看護専門学校コミュニティ
NECネットエスアイ株式会社静岡支店	静岡県仏教婦人会
SSKセールス株式会社	静岡県立静岡高等学校
アピタ浜北店	静岡県立駿河総合高等学校
伊東市立宇佐美中学校	静岡済生会病院
介護老人保健施設エコトープ	静岡市ライオンズクラブ
株式会社旭化成アビリティ	静岡市立高等学校
株式会社大石組	静清信用金庫瀬名支店
株式会社カネハチ棟原店	清水区ライオンズクラブ
株式会社こんにゃくラボ	清水仏教婦人会
株式会社ツムラ静岡工場	下田市ライオンズクラブ
株式会社マルハチ村松	社会福祉法人葵寮
株式会社村上開明堂	宗教法人摩利支天山大乗王院
株式会社明電舎沼津事業所	心岳寺
株式会社メンテックカンザイ	瑞雲院
株式会社ロジネットサポート	裾野市ライオンズクラブ
菊川市ライオンズクラブ	住友理工株式会社富士裾野製作所
希望ヶ丘自主防災会	生活協同組合パルシステム静岡
公益社団法人フードバンクかながわ	大和ハウス工業株式会社浜松支店
湖西市ライオンズクラブ	東京海上日動火災保険株式会社
静岡学園高等学校	東洋アルミニウム株式会社
静岡県信用農業協同組合連合会	鳥居食品株式会社

※掲載を希望された企業・団体様のみを掲載しています。
(50音順)



寄 贈
個 人



| フードドライブ |

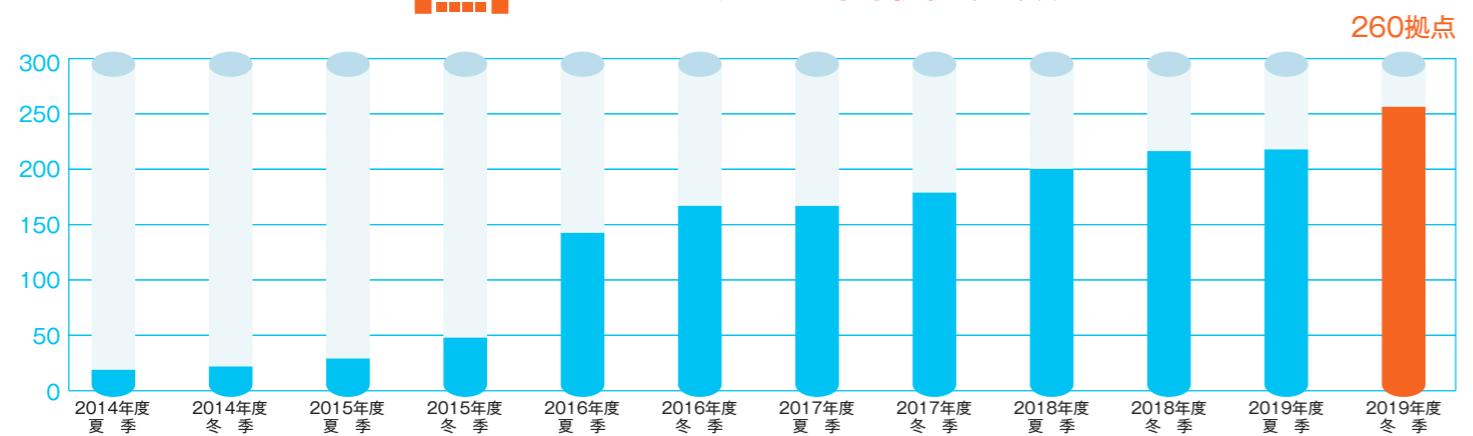
フードバンクに依頼する人の多様なニーズに応えるため、県内の関係団体の協力を得て、一般の家庭で余っている食料を募集する、フードドライブ事業をお中元・お歳暮で家庭に食料が余ることが想定される夏季と冬季の年2回開催しています。冬季フードドライブでは全国最多の260拠点で行うことができました。また、フードドライブは「簡単に出来るボランティア」として、県民のボランティア意識の向上及びフードバンクの知名度の向上といった効果も期待できます。



静岡県下・回収ボックス設置個所数



フードドライブ回収拠点数



西 部
55箇所

中 部
115箇所

東 部
90箇所



フードドライブ回収量



静岡県内に広がるフードドライブの回収拠点



行政・社協の取り組み

島田市の取り組み

島田市では市役所にフードボックスを常設し、フードドライブを実施していただいております。また、市役所・庁舎だけではなく、市内の公民館にもボックスを設置していただき、地域の誰もが活動に参加しやすい仕組み作りをしていただいております。フードボックスの設置だけではなく、市役所から地域の企業等に寄贈の呼びかけを行い、フードバンク活動を積極的に推進していただいております。

設置箇所

島田市役所
島田市役所 金谷南支所
島田市役所 川根支所
六合公民館
初倉公民館



富士市の取り組み

富士市役所では、市内のまちづくりセンター26カ所にフードボックスを設置し、フードドライブを実施していただきました。寄贈場所が増えることにより、活動に参加しやすくなつたと市民の皆様からご意見をいただいております。

富士市内の フードボックス設置場所一覧

富士市役所	原田まちづくりセンター	富士南まちづくりセンター
吉原まちづくりセンター	富士見台まちづくりセンター	岩松まちづくりセンター
伝法まちづくりセンター	神戸まちづくりセンター	岩松北まちづくりセンター
今泉まちづくりセンター	吉永北まちづくりセンター	富士川まちづくりセンター
青葉台まちづくりセンター	大淵まちづくりセンター	松野まちづくりセンター
吉永まちづくりセンター	富士駅北まちづくりセンター	鷹岡まちづくりセンター
元吉原まちづくりセンター	富士北まちづくりセンター	広見まちづくりセンター
須津まちづくりセンター	富士駅南まちづくりセンター	天間まちづくりセンター
浮島まちづくりセンター	田子浦まちづくりセンター	丘まちづくりセンター



伊豆の国市社会福祉協議会・伊豆市社会福祉協議会の取り組み

今年度より、伊豆の国市社会福祉協議会・伊豆市社会福祉協議会では、食品寄贈でご協力をいただいている生活協同組合ユーコープからの食品を直接回収し、検品・仕分けを行い生活困窮世帯への支援を始めています。この取り組みは、フードバンク事務局、ユーコープ、社会福祉協議会の間で事前に協議し、2つの社会福祉協議会ではフードバンクの研修を受けていただいた後に開始しました。この取り組みにより、今まで以上のスピーディーな支援が可能になりました。

構築されているスキーム

伊豆宅配センター



検品後相談機関を通じて
食料希望者へ届く





フードドライブ協力 自治体・社会福祉協議会



東 部

熱海市社会福祉協議会
伊豆市役所
伊豆市社会福祉協議会
伊豆の国市役所
伊豆の国市社会福祉協議会
伊東市役所
伊東市社会福祉協議会
河津町役場
函南町社会福祉協議会
御殿場市社会福祉協議会
清水町役場
清水町社会福祉協議会
裾野市役所
裾野市社会福祉協議会
西伊豆町社会福祉協議会
沼津市役所
沼津市社会福祉協議会
長泉町社会福祉協議会
東伊豆町社会福祉協議会
富士市役所
富士市社会福祉協議会
富士宮市役所
松崎町役場
松崎町社会福祉協議会
三島市役所
三島市社会福祉協議会
小山町社会福祉協議会
下田市社会福祉協議会
南伊豆町社会福祉協議会

中 部

川根本町社会福祉協議会
静岡市役所
静岡市社会福祉協議会
島田市役所
藤枝市役所
藤枝市社会福祉協議会
牧之原市役所
牧之原市社会福祉協議会
焼津市役所
焼津市社会福祉協議会
吉田町役場
吉田町社会福祉協議会

西 部

磐田市役所
磐田市社会福祉協議会
御前崎市役所
御前崎市社会福祉協議会
湖西市役所
湖西市社会福祉協議会
掛川市役所
菊川市社会福祉協議会
浜松市役所
浜松市社会福祉協議会
袋井市役所
袋井市社会福祉協議会
森町社会福祉協議会

● 食料を管理する



提供をいただいた食料を安全に届けるため、管理を徹底しています。

目視による確認

安全な食料を提供するため、目視による確認を3回行います。

1 寄贈を受けた際の確認

寄贈いただいた食料を1つずつ手に取り、賞味期限切れや包装の破損等がないか確認を行います。

2 棚に入る前の確認

いただいた食料を目視で確認した後に、棚に入れます。

3 出庫する際の確認

棚に入った食料を入庫する際にも再度目視で賞味期限、破損による漏れ出しがないか確認を行います。

常設フードドライブ 回収ボックス設置自治体

島田市役所
島田市役所 金谷南支所
島田市役所 川根支所
六合公民館
初倉公民館

藤枝市役所 自立生活サポートセンター
藤枝市福祉センター きすみれ
藤枝市社会福祉協議会在宅福祉センター
湖西市健康福祉センター おほと



追跡可能な記録

寄贈いただいた食料を渡す際には「配達記録書」を発行します。本書類は食料に問題があった際に追跡可能性(トレーサビリティ)を確保することを目的として使用しています。



保険の加入

フードバンク活動を行う上で万が一事故や怪我等が生じた時に適切に対応ができるよう保険に加入しております。

- (1) 食品事故が起きた時の補償
- (2) 食料運搬中に起きた事故
- (3) ボランティアスタッフの作業中に起こった怪我
- (4) 個人情報が流出した際の対応 等



ボランティアの活躍

当法人の活動は様々なボランティア活動によって成り立っています。



賞味期限のチェック



傷みや開封済みのものがないかをチェック



主食 副食 調味料などの分類



4
賞味期限別の仕分け



真空パック後のお米



5
お米は精米後、真空パックします。

● 食料を提供する

支援の広がり

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
出庫件数	367件	1385件	2422件	2902件	2915件	2873件
出庫重量	約14トン	約38トン	約51トン	約60トン	約57トン	約54トン

2014年に開始いたしました、フードバンク事業は今年度で6年目となります。2016年度からは県内全ての自治体と連携を取り、食を通じたセーフティネットを構築することができました。

私たちが行っていますフードバンク活動の特徴の一つとして、静岡県内の自治体・社会福祉協議会、支援団体や施設との密な連携が上げられます。私たちはその連携のなかで、個人や企業、スーパー等の小売店から食料を預かるプラットホームとしての役割を担い、相談機関の皆様は地域の食料希望者の方々から相談を受け、場合によっては直接自宅まで届け、食品を渡した後も抱える課題の解決に尽力していただいているです。

一見すると相談機関の役割・負担が多い印象を受けますが、フードバンク事業は相談機関の方々にも大変喜ばれています。その理由はフードバンクを活用した迅速な対応による「信頼関係の構築」あるいは「支援ツールとしての食料の重要さ」があげられます。

生活に困難を抱え、窓口に来所する方の緊急的な対応をするには社会福祉協議会であれば貸付制度があり、福祉事務所等では生活保護や各種給付金や一時金等が考えられます。しかし、それらは申請から貸付、受給決定、給付まで数週間の期間を要します。その期間に

相談者の皆様に支援をする方法が少なく、場合によっては期間の長さから申請をしない方もいます。そのような方々を支援するため、フードバンクを活用し、迅速な食料支援につなぐことで信頼関係を構築することができます。また、長期支援を検討している方や訪問支援(アウトリーチ)を行う際にも何も持たずに訪問するよりは食料という日々消費する重要なものを持って訪問することで長期化した支援でも関係性を継続することができるという意見をいただいているです。

つまり、私たちが食のセーフティネットのプラットホームとなることで、各地域の相談機関の支援の幅を増やし、相談者の方も相談や申請をして終わりではなく、食品を持ち帰ることができ、申請後の待機期間の生活をつなぎとめができるようになっています。

また、フードバンクを取り巻く環境にも変化が起つります。フードバンクの新しい方向として「子ども食堂」に代表される、子どもの貧困問題への対応もその一つです。支援を行っているのはNPO団体やボランティアの方々が中心となっていますが、フードバンクがそれらの方々と積極的に関わることで、食のセーフティネットの輪を広げていきたいと考えます。



2019年度 フードバンク支援先 地区一覧

フードバンクふじのくに

東部総相談件数	支援重量(kg)	中部総相談件数	支援重量(kg)	西部総相談件数	支援重量(kg)
756	12,215	1,623	34,356	490	6,930
東 部	依頼数	重 量(kg)	中 部	依頼数	重 量(kg)
1 伊東市くらし相談センターこころ	20	283	1 吉田町社会福祉協議会	38	666
2 伊東市役所	47	539	2 御前崎市役所	16	215
3 伊豆の国市社会福祉協議会	42	635	3 焼津市社会福祉協議会	62	1,051
4 伊豆市社会福祉協議会	5	75	4 焼津市役所	61	1,042
5 下田市社会福祉協議会	11	250	5 静岡市葵区役所	117	1,259
6 下田市役所	5	58	6 静岡市社会福祉協議会葵区	47	674
7 河津町社会福祉協議会	1	19	7 静岡市社会福祉協議会駿河区	134	1,917
8 御殿場市社会福祉協議会	65	853	8 静岡市社会福祉協議会清水区	59	822
9 三島市社会福祉協議会	30	431	9 静岡市駿河区役所	24	397
10 三島市生活支援センター	7	394	10 静岡市清水区役所	125	1,768
11 三島市役所	3	31	11 静岡地方検察庁	15	161
12 小山町社会福祉協議会	10	113	12 川根本町社会福祉協議会	1	6
13 松崎町社会福祉協議会	5	89	13 島田市役所	337	6,779
14 沼津市自立支援センター	6	372	14 藤枝市自立生活サポートセンター	151	2,239
15 褐野市役所	12	157	15 藤枝市役所	2	178
16 清水町社会福祉協議会	23	270	16 牧之原市社会福祉協議会	31	432
17 西伊豆町社会福祉協議会	3	65	17 牧之原市役所	6	77
18 長泉町社会福祉協議会	8	98	18 団体	397	14,673
19 東伊豆町社会福祉協議会	11	174			
20 南伊豆町社会福祉協議会	7	123			
21 熱海市社会福祉協議会	30	320			
22 熱海市役所	1	14			
23 函南町社会福祉協議会	35	478			
24 富士宮市社会福祉協議会	1	3			
25 富士市社会福祉協議会	230	3,382			
26 富士市役所	106	1,468			
27 団体	32	1,519			

県外(災害支援等)	依頼数	重 量(kg)
1 フードバンクかながわ	1	82
2 フードバンク埼玉	1	213
3 神奈川フードバンクプラス	1	71
4 フードバンクセカンドハーベスト沖縄	1	259

2020年3月31日





「赤い羽根」新型コロナウイルス 感染拡大対策緊急応援事業

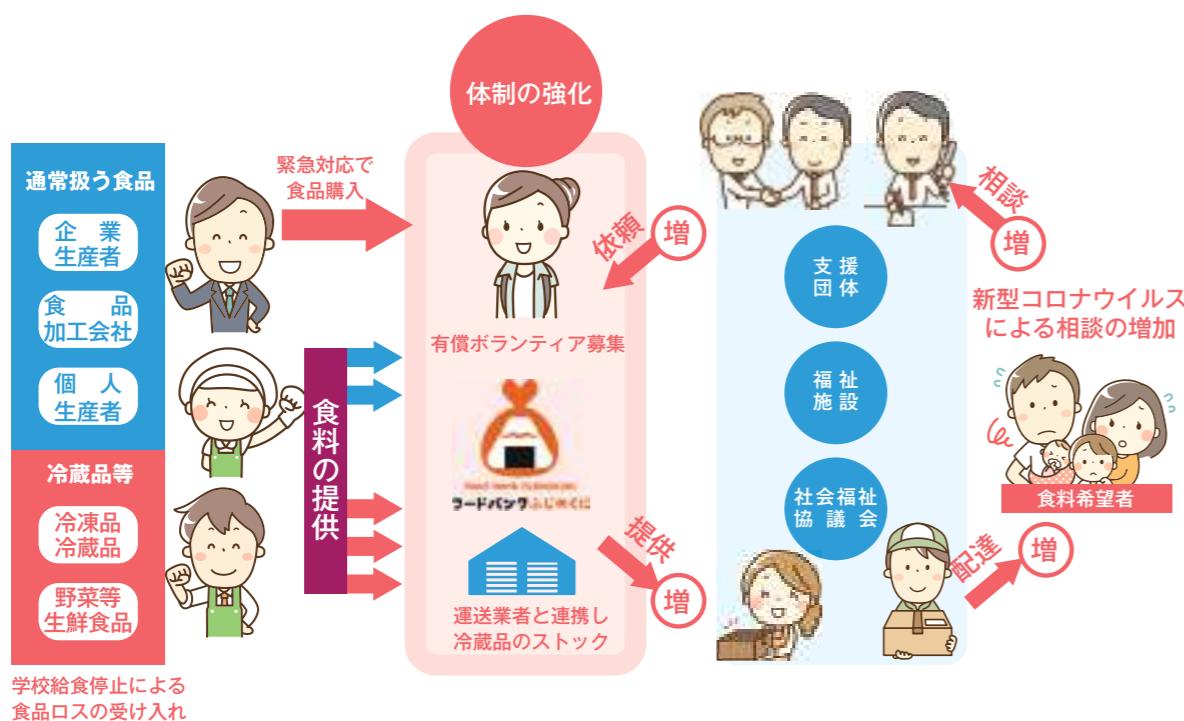


新型コロナウイルス感染拡大により

- ①臨時休校・活動自粛によって満足に食事ができない子どもたちの増加
- ②学校給食等の休止により食品ロスが増加
- ③失業等により、ひとり親世帯などを含む生活困窮に陥る恐れのある方の増加

など通常のフードバンクでは対応しきれない新たな社会課題に対応するため、
静岡県共同募金会から助成を受け、新型コロナウイルス感染拡大対策緊急応援事業を行いました。

実施期間 2020年3月23日～2020年9月終了予定



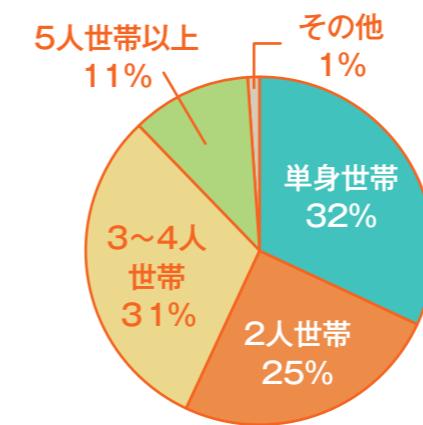
通常のフードバンク活動との違い(9月末までの期間限定)

- ニーズの多様化に対応するため、すぐに食べられる食品を購入する。
- 運送業者と連携し、冷凍車と冷凍倉庫を手配し、普段取り扱わない冷蔵品、冷凍品、生鮮食品の受け入れを行い、保管体制の整っているNPO等へ食品を繋ぐ。
- 新型コロナウイルスに由来する生活困窮の相談の場合には、食品の送料をフードバンクふじのくにで負担する。
- 有償ボランティアを募り、依頼数の増加に対応できる体制づくりを行う。

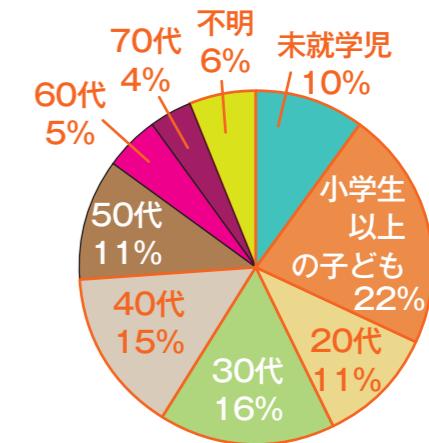
出庫件数2370件(2020年3月23日～7月末)

出庫内訳

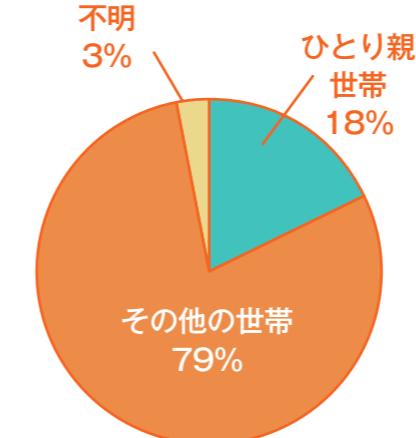
世帯構成



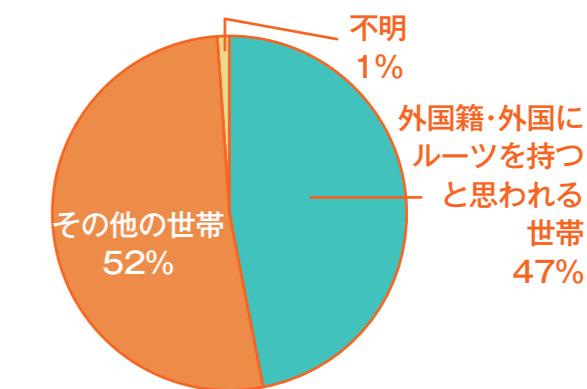
世代



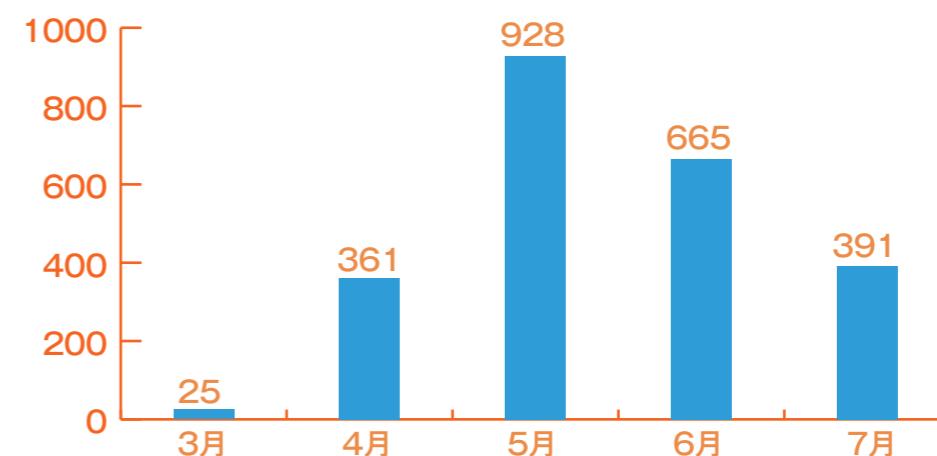
ひとり親世帯の割合



外国籍・外国にルーツを持つと思われる世帯



月別依頼件数



事業推進委員会



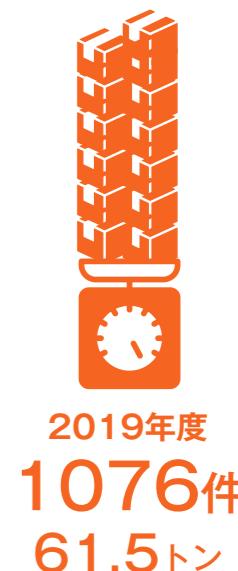
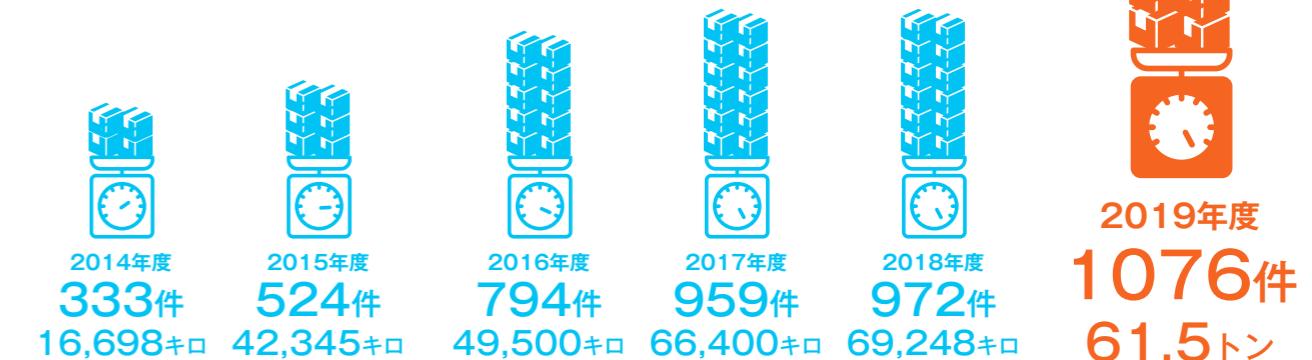
毎年1回、フードバンク事業を展開していくうえで、連携関係が必要と考えられる、県内の行政および、社会福祉協議会を対象とした意見交換会を実施しています。事業推進委員会ではフードバンクへの先駆的取り組みを行っている自治体や社会福祉協議会に活動報告をしてもらい、各自治体、社協に共有するとともに、集まった意見を集約しフードバンク事業に反映しています。

2019年6月10日
県および市町行政職員対象
事業推進委員会

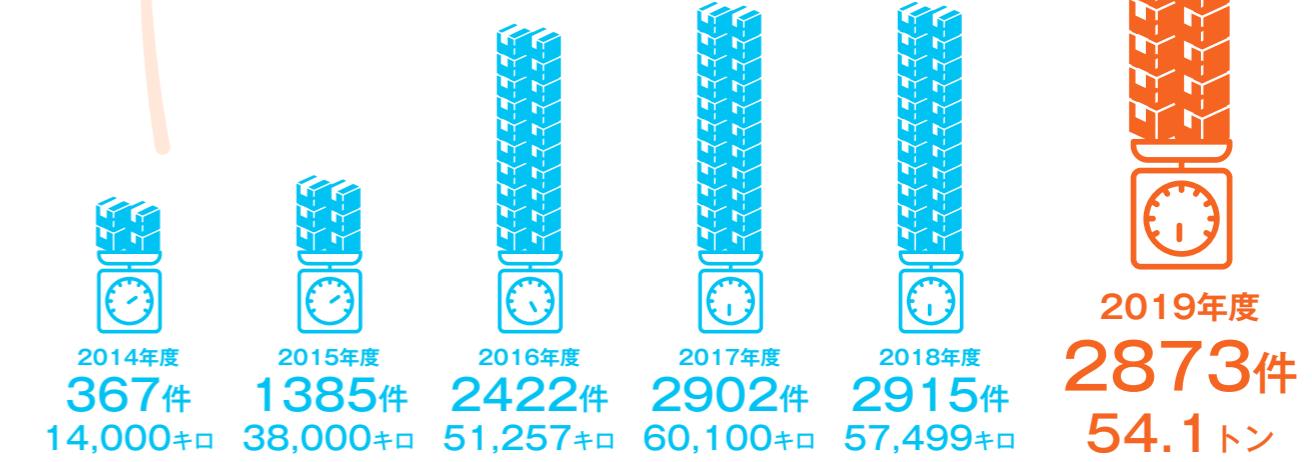
2019年6月17日
社会福祉協議会職員対象
事業推進委員会

統計・アンケート

寄贈件数・寄贈重量

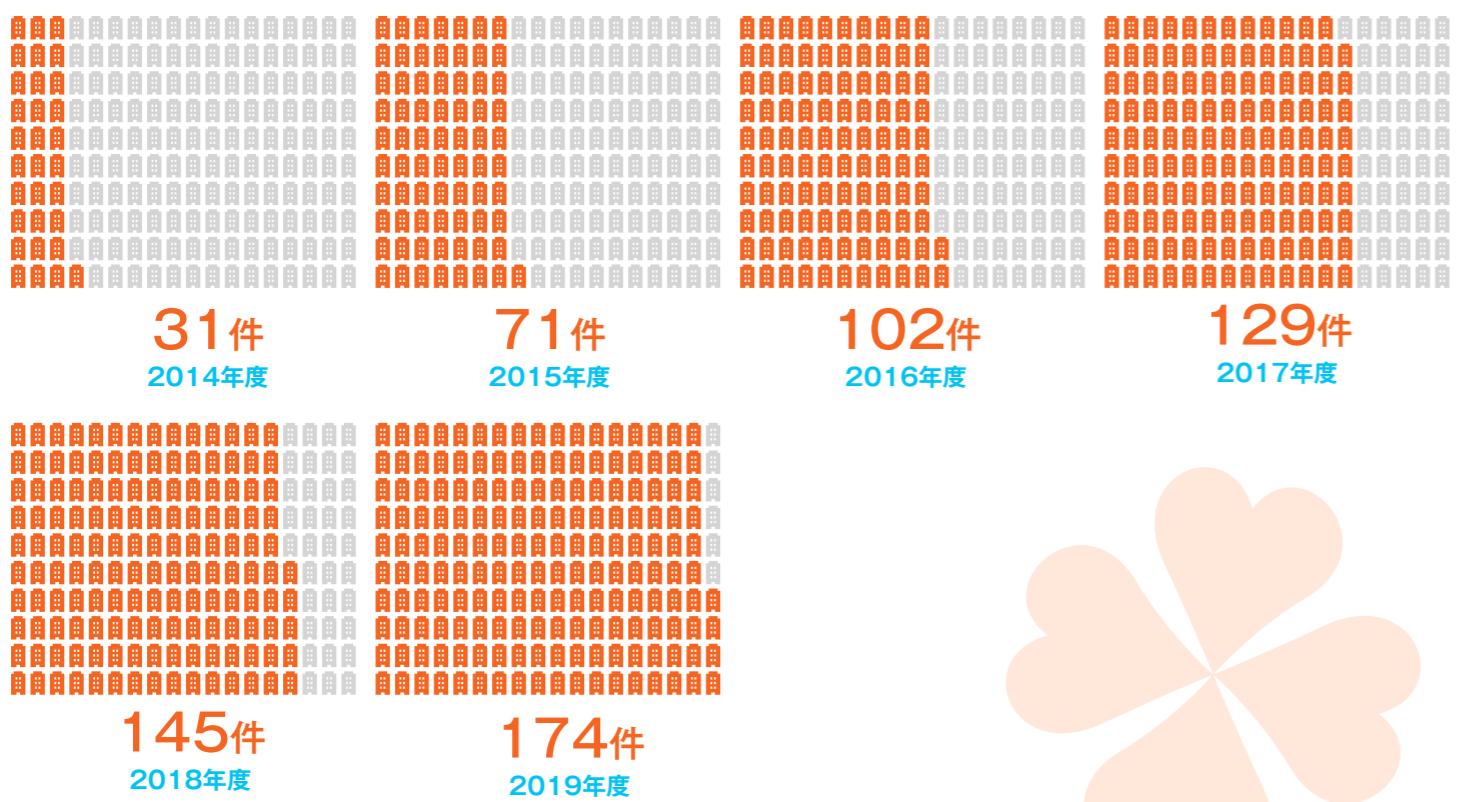


出庫件数・出庫重量



フードバンク利用者の統計

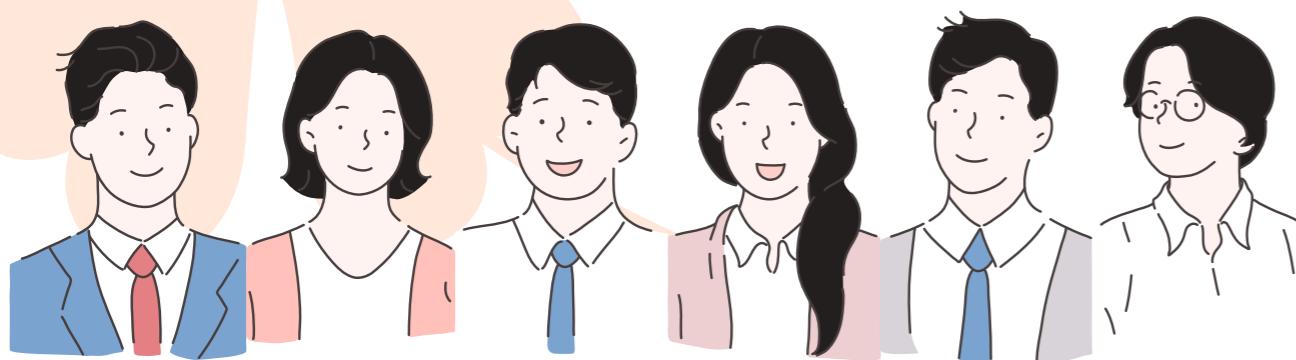
連携企業・団体数



ボランティア時間総数



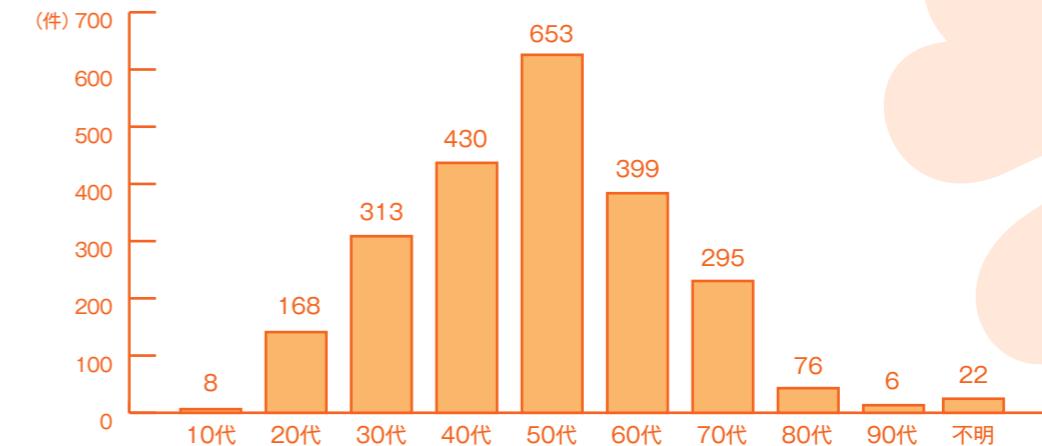
1380時間



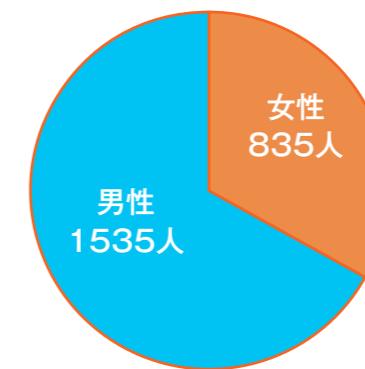
フードバンクふじのくにでは、支援対象者の傾向を探り、今後の支援体制に役立てるため、今年度フードバンクを利用された方々について、様々な角度から集計を行いました。

2020年3月31日までにフードバンクふじのくにによせられた総依頼件数2,873件のうち、福祉事務所や社会福祉協議会等からいただいた依頼2,370件に対し、「年齢別・男女別・利用回数別・世帯人数別・ライフライン別」に集計を行いました。

①年齢別

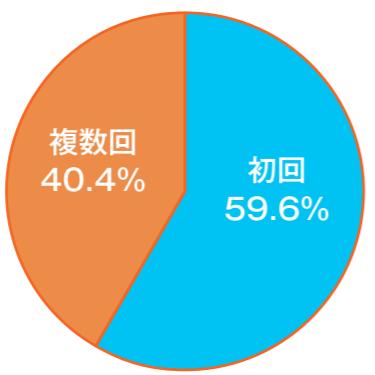


②男女別(世帯主)



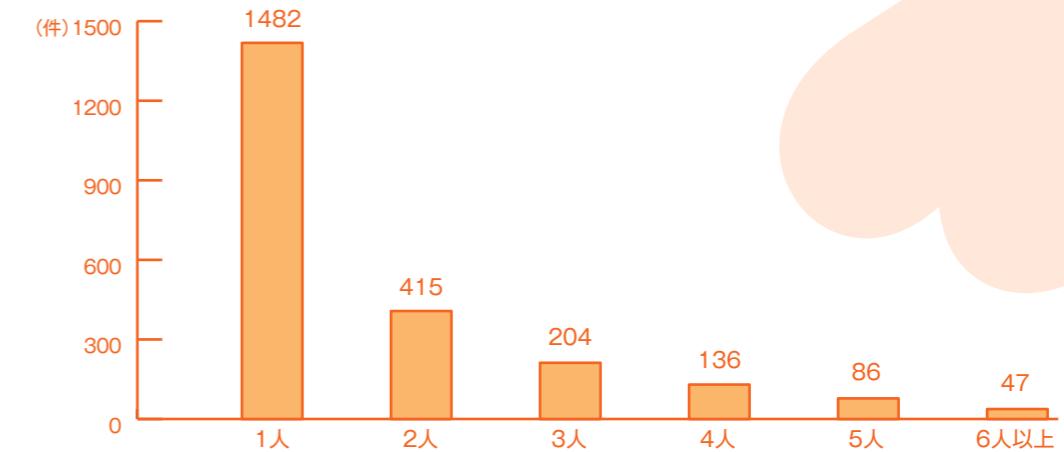
利用される世帯の男女比は男性が65%、女性が35%となり、男性の中高年者の利用が多くを占めています。社会的に人手不足といわれていますが、中高年の再就職は難しく、中高年男性が生活困窮に追い詰められている様子が伺えます。また、利用年齢は昨年と比較してもほぼ同様です。

③利用回数別

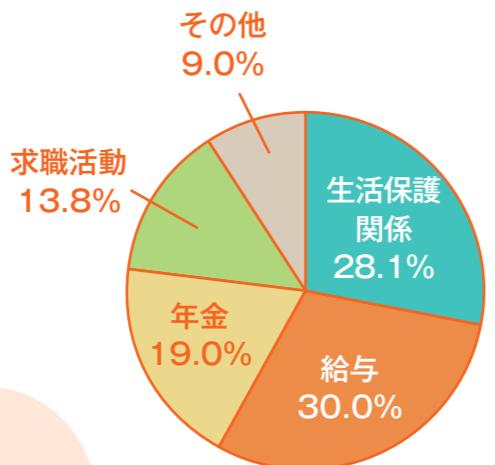


フードバンクを利用される方の約6割が初めての利用になります。複数回利用される方は見守り支援や支援制度、給与日までの間フードバンクで支えている方が多いです。

⑤家族構成別

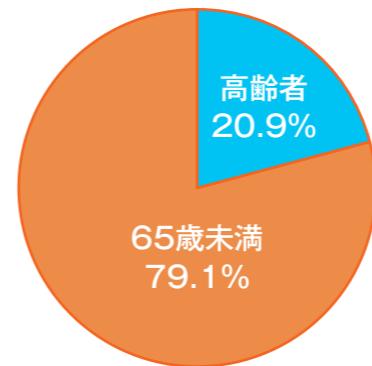


④依頼理由別

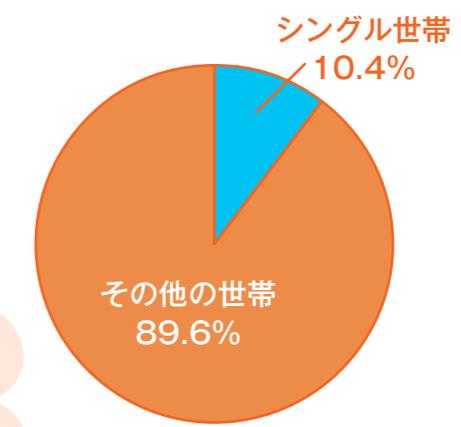


依頼理由別割合をみると「給与までのつなぎ」、次いで「生活保護待機期間等のつなぎ」、「年金までのつなぎ」という順序になりました。生活保護世帯の割合は徐々に上がっており、貧富の差の広がりを感じます。

高齢者(65歳以上)の割合



シングル世帯の割合



フードバンクでは相談者のニーズや地域の実態を把握していくために、家族構成調査なども行っています。集計の結果、家族構成は「単身世帯」が最も多く、そのうち「高齢者」の割合は20%以上でした。シングル世帯の比率は10.4%となり、昨年度の25%から大きく割合を減らしています。2019年10月に独立行政法人 労働政策研究・研修機構から発表された「第5回子育て世帯全国調査」では可処分所得が厚生労働省公表の貧困線を下回っているシングル世帯(特に母子)の割合は、50%を超えていました。また、可処分所得が貧困線の50%に満たない「ディープ・プア(Deep Poor)」世帯も10%前後の割合で存在しているとも発表されており、今後シングル世帯への食糧支援が行き届くようにより地域組織と連携し、事業を行っていく必要があります。

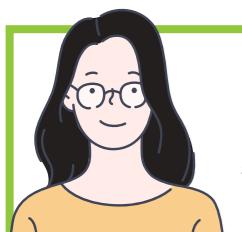
メディア掲載

月	メディア	内 容
5	朝日新聞	ロスジェネはいま
6	SBSラジオ	フードドライブについて
8	FM-Hi	フードドライブ告知
	静岡新聞	未回収食品、回収に協力を
	毎日新聞	眠っている食品、提供を
9	日経新聞	フードバンク、期待先行の現実
10	静岡朝日テレビ	静岡のチカラ
	富士山新報	富士宮市内ライオンズクラブチャリティーゴルフ大会
	中日新聞	麺、缶詰、暮らしの一助に 浜松などで県内LCが支援活動
	静岡新聞	貧困家庭を支援へNPOに食品寄付 県中部の20LC
12	広報志太	中部看護専門学校 ドライブ寄贈
1	中日新聞	牧之原市内に回収ボックス設置
	中日新聞	浜松市内に回収ボックス設置
	静岡新聞	社説:フードバンク支援 仲介機能の普及早急に
	静岡新聞	三島商工会議所女性会 食品寄贈
	静岡新聞	未開封食品、回収協力仰ぐ
	中日新聞	フードボックス温かい心届けて
2	静岡新聞	食料品提供呼び掛け 浜松市立高生が運動参加
3	静岡新聞	行き場のない給食フードバンクへ
	中日新聞	フードバンクに300万円 支援依頼急増県共同募金会が助成
	静岡新聞	県共同募金会がフードバンク助成
	NHK	コロナ対策フードバンク事業
	テレビ静岡	廃棄されてしまう学校給食の食材有効活用

講演依頼・視察受入

月	実施内容
4	静岡東ロータリークラブ 講話
5	鳥取県労働者福祉協議会 観察
6	湖西地区労働者福祉協議会 観察
	事業推進委員会(県及び市町村行政対象)
	事業推進委員会(社会福祉協議会職員対象)
	浜松市南区民生児童委員会 事例提供
	滋賀県民生児童委員会 観察
7	浜松フードバンク会議
	静岡市役所フードドライブ会議
	藤枝市社会福祉協議会 施設見学
	静岡高校 ボランティア講話「フードバンクについて」
8	独立法人農畜産業振興機構 広報誌「alic トップインタビュー」
	夏季フードドライブ
	農林水産省 観察
	北九州ライフアゲイン 観察
9	静岡県災害ボランティア本部・情報センター立上訓練
	西部労働者福祉協議会 事例提供
	浜松ライオンズクラブ 講話「フードバンクについて」
10	日本労働組合総連合会「連合・愛のカンパ」授与式
	吉原ライオンズクラブ 講話「フードバンクについて」
	富士岳南ライオンズクラブ 講話「フードバンクについて」
	静岡県内ライオンズクラブ フードドライブ
	牧之原市 フードドライブ常設設置会議
	松坂屋 フードドライブ
	富士宮ライオンズクラブ 寄贈式
	藤枝 子ども食堂まつぼっくり 施設見学
	仏教婦人会大会 食品寄贈および仕分け指導
	ユーロープ「秋の感謝祭」パネル展示および仕分け体験
11	浜松市フードバンク会議
	労働者自主福祉運動体験学習会 事例発表
	清水市民活動センター周年イベント ブース出展
	付属特別支援学校 施設見学
	公益財団法人ふじのくに未来財団 ネンイチ参加
	静岡県議会 学習会
12	フードバンクちは 観察
	教職員生協 施設見学
	SDGs講演会
	消費者庁 第二回食品ロス削減推進会議
	冬季フードドライブ
1	フードバンク岩手 観察
	牧之原市 フードドライブ授与式
	滋賀県議会 観察
	Jオイルミルズ労働組合静岡支部 講演会
	JR東海ユニオン静岡地方本部 政策セミナー
	生活協同組合ユーロープ 総代会動画 撮影協力
	東遠地域労働者福祉協議会 若者の会 講演会
	消費者庁 第三回食品ロス削減推進会議
	参議院議員 犀崎哲史・棟葉賀津也・森本真治議員視察

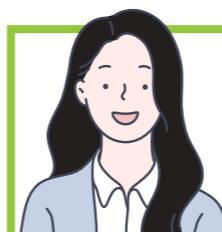
利用者の声



子供がタリので、アーバニクの
活動はとてもたすかります。
万がレも入りいたり、
お米も食べざりで10kgを
15月3回～4回は買うので
す。ありがとうございます。
ありがとうございます。
大切にいたしていきた
と黙ります。



本当に助かります
ありがとうございます
美味しいかったです
います



星君中見まい申し上げます。セミの声が聞こえ
るようになりましたか。
お元気ですか。

お米やおかし、力しなどたくさん
さんの食べものをくんだり、
ありがとうございました。
とてもうれしかったです。
これからもお体に気をつけて
下さい。



先日はどうもありがとうございました。
貴重な食料品大事に
頂きます。
本当に助かります。
いずれは、困っている方々の
御支援が出来ますよう
がんばっていきます。



今回の食品支援により大変助かり
ました。又自宅までお届けて頂き
心より感謝しております。
ありがとうございます。
重ねてお礼申し上げます。



たいせつに
たべます。
ありがとうございます。



インスタントラーメンヒカリが入る箱
と、コマセもあんしんおまけに1点あります
でモカシヌメコナリタリヘントガル
リ玉子、シナスミもあんらひて、
でモカシテエヌガルモリヒトガルモ
モカシセツレタヘビタリタリ、
このハナヤカハコのゆうひで、(1)の
でカレーランチ230円、240円も付く
の、カツカレ、カツカツランチ等
本日はレモンを有りがとうござります
ありがとうございます。



お米からお菓子、シーツ
と幅広いものが袋の中
に入っていました。
ありがとうございます。
日持ちするものが多めで、
5人家族の私たちにとって
て大変良いがたになりました。
今後もこのような活動
を続けていただければ幸いです。



今回 もち米をたくさん頂う
さっそく、あづきを煮、煮けは
製氷皿に、あづきは、1回分づつア
パーに入れ冷凍庫で、お米をどう
忘れた時、といてすぐ使えるもち米
は便利です、炊きあわでもおいしく
食べられます。



色々と有り難うアソリト
非常食のばはんぐ
ひとつ一合に是立て
飲飯器でたべ
見えなくなり
しゃくだけました
別の食べ物を有り難う

食料提供企業

スーパ各店舗でご協力をいただいている皆様



生活協同組合 ユーコープ



2019年度、新しくご協力をいただいた皆様



こころとからだに、
おいしいものを。



※掲載を希望された企業・団体様のみ掲載しています。



静岡県労働金庫



こくみん共済coop
静岡推進本部



一般社団法人
静岡県労働者福祉協議会



公益財団法人
静岡県労働者福祉基金協会



静岡県生活協同組合連合会



連合静岡

特定非営利活動法人
NPOサポート・しみず



特定非営利活動法人
POPOLI



特定非営利活動法人
青少年就労支援ネットワーク静岡



特定非営利活動法人
ワーカーズコープ



全日本運輸産業労働組合
静岡県連合会



日本食品関連産業
労働組合総連合会

※掲載を希望された企業・団体様のみ掲載しています。

※掲載を希望された企業・団体様のみ掲載しています。

寄付団体一覧

ご寄付いただき
ありがとうございました。

グリフィスフーズ株式会社
スズキ株式会社
株式会社静鉄ストア
小笠南地区労働者福祉協議会
河津ライオンズクラブ
蒲原仏教婦人会
湖西地区労働者福祉協議会
湖西地区労働者福祉協議会おいでん祭
小百合キンダーホーム職員有志
静岡県仏教婦人会
静岡県労働金庫(ポイントアップ寄付金)
静岡県労働金庫労働組合
静岡県労働組合評議会
静岡県労働者福祉協議会・福祉基金協会
志太榛原地域労働者福祉協議会
静岡市清水市民活動センター
清水地区ろうきんグリーン友の会
清水仏教婦人会
生活協同組合ユーコープ
地球愛祭り静岡実行委員会
日本環境マネジメント株式会社
沼津香陵ライオンズクラブ
沼津市仏教婦人会
沼津駿河ライオンズクラブ
沼津千本ライオンズクラブ
沼津中央ライオンズクラブ

沼津ライオンズクラブ
のんべえの会
浜松市労働者福祉協議会(第34回労福協まつり)
浜松ホストライオンズクラブ
袋井ライオンズクラブ
富士岳南ライオンズクラブ
富土地域労働者福祉協議会
富士吉原ライオンズクラブ
森町ライオンズクラブ
有限会社サトル精工
ろうきん住まいの会
労働者福祉西部協議会
株式会社静岡ユニオントラベル

※掲載を希望された団体様のみを掲載しています。



賛助会員一覧

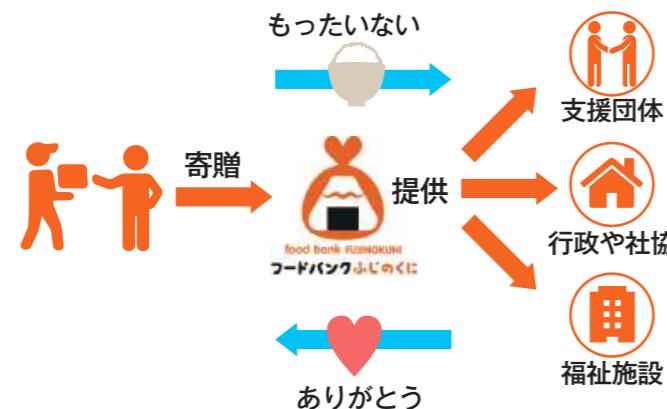
島田地区退職者福祉共済会
島田榛北地区労働者福祉協議会
清水地区労働者福祉協議会
社会福祉法人御前崎市社会福祉協議会
新和製作所労働組合
瑞雲院
スズキ労働組合
裾野地区労働者福祉協議会
住友ベークライト労働組合静岡支部
磐田地区労働者福祉協議会
エフ・シー・シー労働組合
遠州鉄道労働組合
小笠南地区労働者福祉協議会
オカモト労働組合静岡支部
掛川地区退職者福祉共済会
株式会社静岡ユニオントラベル
北駿地区労働者福祉協議会
公益財団法人静岡県労働者福祉基金協会
こくみん共済COOP静岡推進本部
湖西地区労働者福祉協議会
相良仏教会
サポートしづおか・凜
静岡県教職員組合
静岡県教職員組合湖西支部
静岡県生活協同組合連合会
静岡県退職者福祉協議会
静岡県仏教婦人会
静岡県労働金庫部店課長会
静岡県労働金庫労働組合
静岡県労働組合評議会
静岡地区退職者福祉共済会
静岡地区ろうきんグリーン友の会
静岡地区労働者福祉協議会
トクラス労働組合
トヨタ自動車東日本労働組合
日蓮宗三島妙泉寺
日本製紙労働組合富士支部
日本労働組合連合会静岡県連合会
志太地区労働者福祉協議会
沼津地区退職者福祉共済会

他個人506名

● 会員募集 ボランティア募集 ●

寄附を募集しています！

フードバンクとは？



フードバンクとは、品質に問題のないものの、やむなく捨てられてしまう食料を無償で提供していただき、支援を必要とする福祉施設や行政・社会福祉協議会・支援団体を通じて食べる物がなくて困っている方へ食料をお渡しする活動です。事業の性質上、利益を得ることが困難なため、**皆様からのご寄附**が頼りです。

フードバンクふじのくに

フードバンクふじのくには**公益性の高い団体**を目指し、さまざまな団体から成り立っています。



フードバンクふじのくには 認定NPO法人です

認定NPO法人とは、一定の要件を満たして所轄庁の認定を受けたNPO法人で、認定NPO法人に寄附をした人は**税制上の優遇措置**を受けることができます。



理事長	静岡大学教授 日詰一幸
副理事長	静岡県労働者福祉協議会 静岡県生活協同組合連合会
理事	静岡県労働者福祉基金協会、連合静岡、 青少年就労支援ネットワーク静岡、 ワーカーズコープ、静岡県ボランティア協会、 POPOLO、NPOサポート・しみず
監事	静岡県労働金庫 中遠地域労福協

2019年度の活動報告書は、印刷部数4000部・一冊単価61円で作成しています。

サポーターを募集しています！



特定非営利活動法人フードバンクふじのくにでは、活動を支えていただけるボランティアの方を募集しています。

ボランティアスタッフ

食料の仕分けや配達などで、活動を支えていただけるボランティアの方を募集しております。

賛助会員

事業の性質上収入が生まれるものではないため、皆様のご寄附が頼ります。私どもの活動にご賛同いただける方は、ぜひ、お願ひいたします。

活動にご賛同いただける方はお手数ですがお電話かメールにてご連絡下さい。

1.個人賛助会員
入会金 0円
年会費2,000円(一口)

2.団体賛助会員
入会金 0円
年会費5,000円(一口)

口座番号	口座	静岡県労働金庫 本店営業部 普通 4493436	口座	ゆうちょ銀行 00820-9-189097
	名義	特定非営利活動法人フードバンクふじのくに 理事長 日詰一幸	名義	特定非営利活動法人フードバンクふじのくに

お問合せ先



認定NPO法人 フードバンクふじのくに

〒420-0856
静岡市葵区駿府町1-70
静岡県総合社会福祉会館1階

TEL 054-270-7301/FAX 054-270-7302
URL <http://fb-fujinokuni.org/>
mail info@fb-fujinokuni.org